



重綱 秀次 議員

災害時に於けるライフライン復旧情報を町民にどのように伝えるのか

今回は停電と言いつ事で中部電力も20万戸想定外の被害状況で有り復旧には全力を挙げているが、行政や住民からの問い合わせが殺到しコールセンターが機能できなかった。従来は岐阜営業所での一括対応であったが、今後は濃地域については、大垣営業所で連絡体制をとり行政・住民に情報が発信できるようにする。又32年度には各戸に個別受信機を貸与して情報の伝達ができるように構築しよう。



台風21号による宮地清流発電所への倒木被害

私達の街でも昨年9月4日の台風21号の被害により家屋の倒壊、倒木による停電被害があり町内の停電状況は9月4日15時15分から9月7日7時20分まで、3,100戸、県内では20万戸が停電をし、町民からは暗闇のストレス、いら立ちの声も多く頂いた。今後この地域に於いても大きな災害も懸念されるが行政としては、被害状況、復旧情報を町民にどのように配信をするのか。

町長

町長

この件については特に地元の市橋、片山南区で区長や地域の皆さん「杭瀬川の治水と環境を守る会」を設立して頂き粘り強く大垣・揖斐両土木事務所へ陳情要望をしているのが現状である。

日々これだけの災害が発生すると地域の住民の皆様はごうなのかなということでも豪雨になると不安を持っているのも事実である。

これからの対策としては判断水位が決まっているので避難準備情報を出していく、あるいは避難勧告を出していく、空振りになってもしっかりとした情報は出していく。

今後の工事計画は大垣の塩田橋までの国の直轄部分までは完了しているので、そ

杭瀬川の今後の治水対策と工事計画

私達の地域では杭瀬川・東川の合流点の平均水位は0.36mと穏やかな水位で有る。異常気象により一変し昨年の7月5日には2.49mという水位になり、避難判断水位近くなり避難勧告を出すのか出さないのかという状態になり区民の方には大変不安な状況を与えた。

又大垣・揖斐両土木事務所には補正の中で多くの予算を取って浚渫工事をして頂き地域の方も大変喜んでる。

そうした中、当然下流域からの工事では有るが、今後の工事計画は、どのようになっているのか。

これから上流に向かって中川の合流点まで7.6kmあり河床を約1m下げて河川断面を作る計画がある。赤坂大橋、新大橋の早期の改修を要望しており、今年度大垣土木のほうで用地補償の予算がついたという事である。地域の住民の方にはいろんな面で問題が出てくると思われる。そういった点も含めて最上流の池田町としては早期の全面改修のお願いをしよう。



7月5日の杭瀬川